

Well-being

[ウェルビーイング]

な空間づくり

COMANY CONCEPT BOOK



創造性と生産性を 上げる空間づくり

そこに過ごす人にとって本当に「よい間」を考える

コマニーの考える 「Well-being な空間づくり」とは

Well-being(ウェルビーイング) は、「幸福」と訳され、
近年、2030 年に終了する SDGs に代わる言葉として注目されています。

Well-being に関する有名な研究によると、
「幸せな社員とそうでない社員を比較すると、**創造性が 3 倍、生産性が 1.3 倍高い**」
という結果が出ており、Well-being はビジネスにおいても非常に重要な概念となっています (*)。

そして、私たちは「人間」という単語は英語で「Human-being」と表すことから、
「Well-being (幸福)」は「よい間」に過ごすことで実現できると考えました。

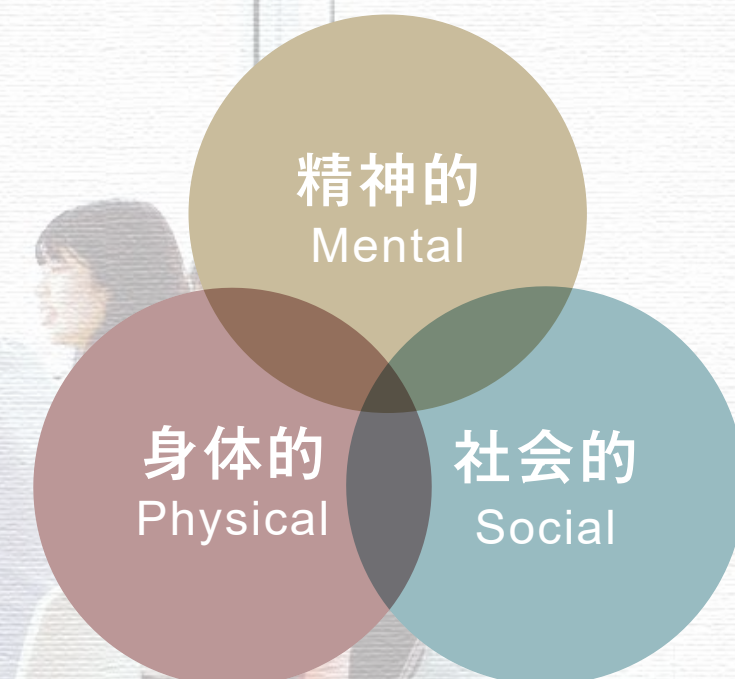
よい 間
well + being = 幸福

きれいにデザインされた空間や、多くの投資によって作られた空間も、
そこに過ごす人々が幸福を感じてこそ、本当に「よい間」となります。

社会や価値観、ワークスタイルが多様化する時代において、
すべての人がはたらきやすい空間づくりが求められています。

それぞれ異なるパーソナリティをもつすべての人が、
その個性を最大限に発揮し、自分らしく活躍できる空間を創造する必要があるのです。

WHO(世界保健機関) は「Well-being」について、
「病気や怪我がないだけでなく、身体的・精神的・社会的に健康な状態であること」
と定義しています。



私たちは、「身体的・精神的・社会的に健康に過ごせる空間」を「よい間」と定義し、
「よい間」を創造することで、そこに過ごすすべての人たちが「幸福」になり、
より高い創造性と生産性をもってはたらける空間を実現しています。
それが、コマニーの考える「Well-being な空間づくり」です。

Natural

インキュベーションオフィス京都 住友不動産様



木のぬくもりに
囲まれはたらく

心を整え、創造性と生産性を高める木質空間

精神的な Well-being を意識した空間づくりは、そこに過ごす人にとって、不安感やストレスがなく、心理的にリラックスした状態になれる空間にすることを目的にデザインされます。

このような心理的安全性に寄与するのが「木」を利用した空間設計です。WELL 認証における「心」の評価項目では、自然とのつながりを意識できる空間であることは、評価の加点項目となっています。コマニーでは、ハイパーパーティション、トイレパーティション、ドア商品群において木製品を用意しており、これらの商品の採用により自然とのつながりが実現できます。

住友不動産様のインキュベーションオ

フィス京都の事例は、「木」がもたらすやすらぎを最大限に表現した空間のひとつです。インキュベーションオフィスとしてよりよい間を考えた時、すべての利用者にとって、落ち着ける空間であることがデザインのキーポイントになりました。

そこで、空間全体に木製品を使用し、随所に緑を配置することで、京都らしい和を基調としながらも、自動ドアなど利便性も取り入れたモダンな空間となりました。

木のぬくもりは、ストレスの軽減、集中力の向上、創造性の促進などが期待できるとされています。

また、閉塞感のある環境や人の動きが視認できない空間は、心理的なストレスとな

WELL 認証項目	心 Mind	材料 Materials
	コミュニティ Community	

ります。ガラスパーティションの採用は、空間を仕切りながらも開放感をもたらし、周囲とのつながりを感じられ、心理的安全性の向上につながります。更に、空間と調和した木目ルーバーを組み合わせセミクローズドにすることで、適度に外部からの視線を遮り、プライバシーの確保や安心して過ごせる環境を実現しています。

また、出入口には木目仕様の自動ドアを採用し、「木」をテーマにした空間づくりを徹底しています。こうした自然の色彩や素材、植物を取り入れた空間デザインは、医療福祉施設だけでなく、オフィスでも求められており、そこで働く人々の生産性にも良い影響を与えます。

木漏れ日表現 [ガラスパーティション × ルーバー]



インキュベーションオフィス京都 住友不動産様の事例において、特別な仕様としてガラスパーティションとデザインパーティションの縦ルーバーを組み合わせて設置しました。

ガラス素材はクリーンで洗練された印象を与えるため、信頼感や安心感をもたらします。オフィスや会議室のデザインにガラスパーティションを採用することで、オープンで信頼に基づいた

コミュニケーションが促進され、心理的安全性の確保につながります。また、今回の様に前面にルーバーを組み合わせることでセミクローズドなレイアウトを実現しました。そして、木の空間である室内に外から差し込む光は、まさに「木漏れ日」を表現しています。

多様なニーズに配慮した自動ドア



WELL 認証における「材料」の評価項目では、接触機会の削減が求められています。これは、コロナウイルスの世界的流行に起因するもので、利用者同士の不要な接触機会を削減する出入口にすることで、精神的な Well-being に貢献します。今回の事例においても、メインの出入口に自動ドアを採用することで、接触機会の削減を実現しています。また、木目にするこ

使われている主な商品



ガラスパーティション BRIDIA (ブリディア)



デザインパーティション Xis-tone (エクシス・トーン)



自動ドア EAD

関連商品



デザインドア

デザインドアは、全 8 種のパターンと全 31 種のカラーバリエーションを取り揃えた意匠性の高いドアです。ガラスパーティションを採用した無機質な空間でも、デザインドアが表現する木質感の温もりは、視覚的にも安らぎをもたらし、空間に癒しとリラックス効果を生み出します。シンプルながらも洗練されたデザインがオフィス空間に個性を与えるとともに、従業員や訪問者にとって快適で落ち着ける空間を実現します。



株式会社ワイ・デー・ケー様

オフィスから徒歩0分のカフェで心をリフレッシュ

近年、多くの企業が各所に休憩室を導入しています。その理由のひとつに、労働安全衛生法の事務所衛生基準規則第十九条に「事業者は、労働者が有効に利用できる休憩設備を設けるよう努めなければならない」と記載されており、企業にとって休憩室の設置が努力義務として課されていることもあります。しかし実際に、仕事での適度な休息は、疲労やストレスを軽減し、集中力を取り戻す効果があり、従業員の生産性を高める効果をもたらします。

さらに、休憩室は異なる部署や役職の従業員同士が自然に交流できる貴重な場ともなります。リラックスできる空間での会話は、社内の風通しを良くし、新しい視点や考えを共有する機会にもなります。

休憩室の設置は、従業員の精神的な Well-being を向上させ、新しいアイデアの創出拠点にもなり得るのです。また、美しく快適な休憩室は、企業のブランディングや採用活動にも好影響を与えることが期待されます。

WELL 認証においても、「心」の評価項目で回復スペースの設置は加点項目となっており、休憩室の導入が推奨されています。また、「栄養」の評価項目では、業務エリアから徒歩 200m 以内に飲食専用スペースを設置することが求められており、自動販売機やオフィスコンビニサービスの設置も評価の加点につながります。さらに、「水」の評価項目では、飲料水の水质が重視され、ウォーターサーバーや浄水器の導入なども

WELL 認証項目

栄養 Nourishment 心 Mind
コミュニティ Community

Well-being の向上に寄与するのです。

株式会社ワイ・デー・ケー様の休憩室の事例では、空間をゆるやかに仕切り、緑や木目を取り入れることで、心安らぐ質の高い休憩室を実現しています。また、移動式スクリーンを使って空間を自由に变化させ、利用者のニーズに応じて柔軟に対応できるデザインとなっており、周囲にはスタンディングテーブルや天井まで仕切られたスペースも配置し、時間や人数、目的に合わせて使い分けられるリフレッシュ空間を提供しています。

コマニーの商品を組み合わせることで、お客様のニーズに合わせた休憩環境を提供し、従業員の精神的な Well-being に貢献しています。

ゆるやかに仕切られた空間がもたらす Well-being 効果



ゆるく仕切られたスペースは、開放感とプライバシーのバランスが取れた共有空間を提供し、従業員の Well-being 向上に大きく寄与します。視線を遮りつつも完全に閉鎖されていない設計により、圧迫感を与えず、リラックスできる環境が整えられます。また、自然素材や柔らかいデザインを取り入れることで、安らぎと落ち着きを感じさせる空間を作り出し、心身のリフレッシュを促進します。このようなスペースでは、適度な孤立感がありつつも、周囲とのつながりが保たれているため、従業員同士のコミュニケーションが自然に促進され、業務の合間に気軽な交流が可能です。結果として、ストレスの軽減や創造性の向上、リフレッシュ効果が得られ、従業員の Well-being に大きく貢献します。

会議室を有効活用したプライベートな休憩室



WELL 認証の「心」の評価項目において、回復スペースの設置は加点項目とされており、休憩室の導入が推奨されています。リフレッシュエリア内に設置された天井まで仕切られたスペースは、会議室としても、プライバシーが守られた休憩室としても利用可能です。会議室は通常、遮音性を考慮した設計となっており、周囲の音や視線を気にせずリラックスできる環境が整っているため、従業員のリフレッシュに最適です。そのため、勤務時間と休憩時間で柔軟に用途を変えて有効活用できる点も大きな利点であり、従業員の Well-being 向上に大きく貢献します。

使われている主な商品



クリエイティブブース
C-Style (シー・スタイル)



コミュニケーションスポット
Ricola (リコラ)



スチールパーティション EUP



ローパーティション Portia (ポルティア)

「Portia」は、豊富なカラーパターンで空間を彩るクロスタイプのローパーティションです。フロアスペースなどの問題で専用の休憩室を設けることができない場合は、ローパーティションを用いて、簡易的な休憩室を設置することは良い手段です。新たな空調や照明などの設置も不要なため、ローコストで従業員が休憩や交流を取れるスポットを形成します。柔軟に組み替えられ、オープンで開放感があるなど、ローパーティション独自の魅力もあります。また、休憩室内に設置すれば、よりプライベートな空間を生み出すこともできます。



日本ビジネスシステムズ株式会社様 虎ノ門 STATION TOWER

サーカディアンリズムを整える美しい光の空間

WELL 認証項目 | 心 Mind 光 Light 音 Sound

身体的な Well-being を実現する空間において、自然光を常に感じられる空間であることは、大きなポイントになっています。

WELL 認証における「光」の評価項目においても、自然光を感じられる空間であることが求められています。自然光つまり太陽の光は、明るさや色、当たる方向によって、人々のサーカディアンリズム（体内時計）を整え、生理的覚醒度を向上させるとともに、質の高い睡眠にも影響を与えます。

単に屋内の明るさだけを考え、照明に依存してしまうと、サーカディアンリズムを狂わせるだけでなく、視力への悪影響ももたらしてしまいます。そのため、健康的

な光環境の確保は、そこに過ごす人たちの生産性向上にも貢献してくるのです。

日本ビジネスシステムズ株式会社様の虎ノ門 STATION TOWER（東京都）のオフィスは、実際に WELL 認証の最高ランクである、プラチナ本認証を取得した空間のひとつです。ガラスパーティションをメインに採用し、執務エリアおよび通路と会議室で相互に自然光を取り込み、常に太陽の光を感じられるよう空間を設計することで、身体的な Well-being に貢献しています。

ガラスパーティションは、自然光の取り込み以外にも、空間に開放感を与え、そこに過ごす人たちの気持ちよさに貢献しま

Light

す。さらに、WELL 認証の「光」の評価項目で求められる照明のデザイン性においても、空間の照明をより一層引き立てます。

セミナースペースやリフレッシュスペースにはガラスタイプの移動パーティションを採用することで、自然光を十分に確保しながら、空間としてのデザイン性を究極まで追求しており、足を踏み入れただけで、その世界観に圧倒されるでしょう。

ガラスパーティションの採用は、単に意匠性だけではなく、「光」という面において Well-being に重要な役割を示すのです。



ガラスパネルを採用した移動パーティションで光を取り込みながらスタイリッシュに新たな空間をつくる



コマニ一のパーティションは、対応するパネルの組み合わせにより、あらゆる可能性を生み出します。日本ビジネスシステムズ株式会社様の虎ノ門 STATION TOWER の事例においては、セミナールームに DP-60S にガラスパネルを用いることで光をふんだんに取り入れたミーティングルームを、リフレッシュスペースには KOUSHI の特注パネルを用いることで光を適度に取り込み意匠性高く味わいのある飲食兼コミュニケーションスペースを実現しています。もちろん、移動パーティションだけではなく、ハイパーパーティションについても、空間に応じて自由にパネルを組み合わせることで、多様な空間を創造します。

使われている主な商品



ガラスパーティション BRIDIA (ブリディア)



移動パーティション DP-60S



移動パーティション
FLOAT DP (フロート ディーピー)



ハンギングドア HD

関連商品



デザインパーティション KOUSHI (コウシ)

「KOUSHI」は自然とコミュニケーションが生まれる、クリエイティブな空間を演出するデザインパーティションです。空間と空間を「面」で遮断するのではなく、雰囲気や領域が変わったことを認識させることによって、境界をあいまいに、内と外、人と人とのゆるやかにつながります。「KOUSHI」の名前の由来は 格子 (こうし) からきており、日本らしさを感じる縦横のフレームが、空間に穏やかな採光をもたらし、親しみやすさと居心地の良さを感じさせます。

体内時計を整え生産性を上げる



Safety

安心安全な空間をそこに 耐震間仕切で人を守る

WELL 認証項目 | 心 Mind 光 Light 音 Sound

身体的な Well-being を実現する空間において、安全性の確保は重要な課題です。空間の安全性は、そこに過ごす人の心理的安全性に影響を与え、業務上のパフォーマンスにも関係してきます。また、万が一災害が発生した場合に復旧および業務再開までの時間を短縮するメリットもあります。

災害大国の日本において、いつ何が起きるかわからないなかでも地震のリスクが企業にとっての大きな課題でもあります。

本事例の工場に併設される事務所に設置されたミーティングスペースには、高耐震のパーティションが採用され、震度7でも倒れない安心感がそこにあります。

ガラス面には強化ガラスを採用し、自然光や執務空間の光を取り込める空間でありながら、高耐震を実現し、安心・安全な空間を実現しています。このような心理的安全性の確保により、リラックスしながら気軽に話し合える空間となっており、新しいアイデアが生まれるような創造の拠点になっています。

高耐震間仕切 Synchron(シンクロン)



「つながって、支え合う」という新発想から、パーティションと天井が相互に「つながる」ことで支え合い、最大限の強度を発揮する耐震システムを開発しました。耐震実験を繰り返し、部材形状や板厚・材質を最適化した、新開発「つながりジョイント」でしなやかな強度が生まれます。震度7を観測した熊本地震と同等の揺れで検証したシンクロンは、はたらくすべての人の身の安全を地震から守ることに一役を買う貴重な存在となっています。コマニーでは、実用性だけではなく安全性も重視して、はたらく人々の身体的 Well-being をサポートします。

使われている主な商品



スチールパーティション Xis (エクシス)



Comfort

防音 / 防火 / 耐熱で快適な空間をプラス

WELL 認証項目 | 心 Mind 音 Sound 温熱快適性 Thermal Comfort

身体的な Well-being を意識した空間づくりにおいては、そこに過ごす人が快適な温度や静けさを感じられることが重要です。WELL 認証における「音」と「温熱快適性」の評価項目でもその重要性が説明されています。空間の快適性は、従業員の幸福度や生産性に大きく影響するのです。

特に、工場での働く空間において、騒音や安全性に対する課題が多くあります。工場ラインの生産効率だけでなく、そこで働く人にとって騒音が軽減されることや室温が適しているかどうかによって生産性の効率は大きく変わります。また、その環境が安全であるということも生産性を向上させるために必要な要素となります。

例えば、工場用ルールの設置は、工場内の騒音の軽減やルール内の温度調整を実現し、ストレスの改善や作業効率の向上、また、休憩室としての機能を提供します。また、建築基準法により、工場内に防火区画の設置が義務付けられる場合もあります。その場合、耐火工場用ルールの設置にて対応することも可能です。工場用ルールの設置により、そこに過ごす人たちの心理的安全性を確保することが可能になります。

ファクトリーブースで工場や作業場に優れた快適性を



組立式で耐火工場用ルールを実現。工場において安心して働くために防火区画構造が必要です。その環境を組立式で実現することができます。工場ではラインや作業の稼働が生産と直接的に関係してくるため、設置期間を最短にすることで、稼働期間を少しでも多くとれるようにします。また、生産ラインなどの変更による空間の変更にもモジュールによりサイズ変更が可能です。変化する環境に柔軟に対応することができます。

使われている主な商品



耐火工場用ルール FB-T まもっ太郎

抗菌・抗ウイルストイレブース CB-HBACR

ヘルスブライトとは、化学物質過敏症の小さなお子さんへの思いから誕生した環境改善コーティングのブランドです。その効果は幅広く、抗菌・抗ウイルス・VOC 分解・消臭・防カビ・防汚と多岐にわたります。ヘルスブライトを施すことで、誰もが触れる面を安全に保ち、大切な人が過ごす空間をもっと安心できる場所にします。このヘルスブライトを、特に接触機会が多く、衛生面で配慮が必要であるトイレブースに施した商品が、抗菌・抗ウイルストイレブース「CB-HBACR」です。



クリーンルーム

「クリーンルーム」は、使用目的によって各分野で幅広く利用されています。半導体各製造工程、液晶製造工程、電子部品機器などの工業用や食品、製薬などの食品医薬品用に考えられたクリーンルームがあります。用途に合わせて簡易的につくことも可能であり、ユーザーにとって適した仕様を提供できます。さらに設置後のレイアウト変更が比較的容易である上に耐震性能があることで、安全な環境を安心して利用できる空間を構成しています。



Flexible

順天堂大学 様



シーンや目的に合わせて自由に「仕切る」



移動パーティションは、大きな空間をフレキシブルに仕切ること、シーンや目的に合わせた利用が可能です。このような大型の施設においては、災害時の避難場所として用いられることもあり、その場合、移動パーティションはプライバシーの確保にも寄与します。意匠性が高いガラスパーティションにもロールカーテンを設置することで、試験時の集中力向上や匿秘性の確保、視線によるストレスの軽減などを両立することが可能になります。

関連商品



ユニバーサルデザイン折り戸 Dear-d (ディアード)

「Dear-d」は、開閉時に必要なデッドスペースを最小限に抑え、トイレ空間を効率的に活用できる設計です。さらに、軽い力で簡単に開閉できるため、力の弱い方や車椅子の方、手荷物を持ちながら指先だけで操作しなければならない場合でも、優しくサポートします。コマニーは「すべての人が使いやすいトイレ」の実現を目指し、社会的な Well-being を意識した空間づくりに貢献しています。

それぞれの能力を引き出す自由で柔軟な学びの空間

WELL 認証項目

材料 Materials

コミュニティ Community

社会的な Well-being を実現するために、誰にとっても使いやすい空間であることが求められます。パーソナルが多様化する中、様々な個性を持つ人たちが、同じ空間を利用すると考えた場合、そこに過ごす人全員が、公平に使いやすくてはなりません。WELL 認証における「コミュニティ」の評価項目においても、ユニバーサルデザインの導入や多様性の包摂が加点評価となっています。

コマニーの商品においては、特に吊戸・折り戸商品について、ユニバーサルデザインを取り入れており、開閉に大きな力が必要で、また、広々とした出入口を確保できるようになっています。ユニバーサルデザインを取り入れたドア商品群は、公共施設や医療福祉施設のみならず、オフィスや工場にも多く採用されています。

順天堂大学様では、教育機関という多くの利用者が想定される施設のため、それぞれのパーソナルや目的に応じて、誰もが柔軟に使いやすい空間となるよう、

様々な工夫が凝らされています。

教室や通用口の出入口には、人の動きを妨げない引き戸や自動ドアが採用されています。これは、多様な人がストレスなく行き来できる空間を実現するためのものです。大きな教室では、移動パーティションの採用により、空間を目的に合わせてフレキシブルに変化させることが可能となっています。

また、教室と共有スペースの間には、光の確保や意匠性、気密性に優れたガラスパーティションが採用されています。これにより、開放的な雰囲気を保ちながら、音漏れを防ぎ、プライバシーと集中力を維持できる環境が実現されています。さらに、内側にロールカーテンを設置することで、必要に応じて空間を区切り、よりクローズドな環境を作ることできます。

フレキシブルな（柔軟性のある）空間づくりは、社会的な Well-being の実現にとって大きな役割を示すのです。

使われている主な商品



ハンギングドア HD



自動ドア EAD

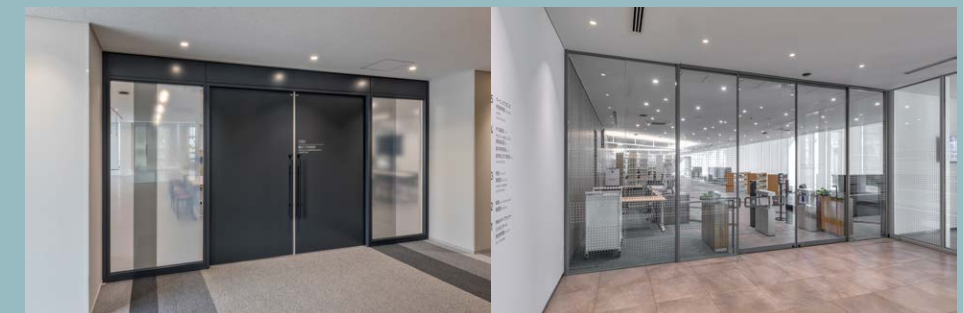


ガラスパーティション BRIDIA(ブリディア)



移動パーティション DP-60S

誰もがいつでも使いやすい出入口に配慮する



公共性の高い施設では、ユニバーサルデザインの視点から、エントランスに開放的なガラスの自動ドアを採用し、施設内の視認性を確保しています。自動ドアは、車椅子利用者や、手荷物を持つ方、子ども連れの方など、多様なニーズに対応できるアイテムであり、バリアフリーな出入口により、誰もが安心して利用できる空間を提供します。こうしたユニバーサルデザインの考えは、すべての人にとって公平で快適な環境を整えることができます。

広がる自由 変化する空間



「人」を中心に はたらくを考える

WELL 認証項目

運動 Movement	音 Sound
心 Mind	コミュニティ Community

社会的な Well-being を意識した空間づくりで、最も重要なポイントは「人と人とのつながり」です。同じ空間で過ごす人々が孤立せず、支え合い、コミュニケーションを通じて成長し合える空間こそが、Well-beingな職場環境を実現します。この「人と人とのつながり」を支える鍵となるのが「心理的安全性」です。心理的安全性とは、誰もが安心して自分の意見を表現でき、ミスや失敗を恐れずに挑戦できる環境を指します。このような職場環境は、従業員の能力を最大限に引き出し、組織全体の成長やイノベーションを促進します。

心理的安全性を深く考えると、「人間の安全保障」という概念が重要になります。国連開発計画（UNDP）が提唱する「人間の安全保障」とは、人間一人ひとりに焦点を当て、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、それぞれが持つ豊かな可能性を実現するため、保護（Protection）と能力強化（Empowerment）を通じて持続可能な個人の自立と社会づくりを促進する考え方です。これを働く環境に当てはめると、保護とは従業員が安心して働ける空間を提供することと言えます。快適に仕事ができる什器や設備の整備、効率的な作業スペース、秘匿性の確保がその一例です。一方、能力強化とは、従業員が自発的に成長し、他者と協力しながら働けるよう、フリーアドレス制を導入するなど、オープンで柔軟な空間を提供することを意味します。

コマニーのオフィスでは、効率と創造性が自然に交わる柔軟なワークスペースを実現する「Pitch & Park」というコンセプトのもと、カジュアルなコミュニケーションの場を創り出しています。働く人々が自由に対話し、アイデアを生み出す場として心理的安全性を高めるスペースや、偶発的な出会いや同僚との会話が生まれるスペースを設置しています。また、シンプルな枠組みに複数のアイテムを組み合わせることで、プロジェ

クトチームのハドルミーティングやリフレッシュの場としても活用できる柔軟なスペースを提供しています。

これらの空間は「Pitch & Park」コンセプトから生まれたアイテムを活用し、従業員が自然に集まる交流の拠点となることで、フリーアドレスの可能性を最大限に引き出します。これにより、従業員同士の対話やコラボレーションが促進され、組織全体のコミュニケーションの質が向上します。人に合わせた柔軟な環境を創ることで、新たなアイデアが生まれやすくなり、業務効率と創造性の双方を高めることができます。この「Pitch & Park」の考え方は一般的な会議室との併設も可能で、秘匿性が求められる会議や来客対応にも対応できる空間を実現しています。

さらに、フリーアドレスの導入は、WELL 認証の評価項目である「運動」にも寄与し、従業員の歩行を自然に促し、長時間の着席による負担を軽減するなど、身体面でのメリットも享受でき、従業員の健康と快適な働き方の実現に貢献しています。このように「Pitch & Park」の導入は、オフィス全体の Well-being を高め、働く人に幸福をもたらします。

関連商品



どこでもブース
Remote cabin (リモートキャビン)

周囲の騒音・雑音を抑え、集中作業やオンライン会議に最適な個室ワークブースです。「2 時間快適に過ごす」をコンセプトに、足を伸ばせる広い室内設計で、長時間の利用でも疲れにくいのが特徴です。室内のブラケットライトは、集中したい時や休息したい時に合わせて照明を調整でき、気分に応じた快適な空間を演出することができます。プライバシーが保たれた環境で心理的安全性を確保し、働きやすさと社会的 Well-being が向上します。

Communication



「はたらく」の新しい考え方「Pitch & Park」

コマニーでは、「Pitch & Park」というコンセプトのもと、働く空間を「効率を生み出す領域（Pitch）」と「アイデア創出の領域（Park）」に分け、それぞれの価値を最大限に高める場として考えています。これらの 2 つの領域は、単に明確に区切るのではなく、曖昧さを残すことで自然なコミュニケーションやコラボレーションを促進します。「人と人」、「人と発想」の関係を促進し、効率性を高めながら創造性も育む空間づくりを通じて、最適なワークプレイスを提案します。



豊かな交流が 創造性を高める



使われている主な商品



スチールパーティション Xis (エクスィス)



デザインパーティション
Xis-tone (エクスィス・トーン)



コミュニケーションブレイス
Xis-Frame (エクスィス・フレーム)



コミュニケーションスポット
Ricola (リコラ)

Well-being な空間を評価する国際指標「WELL認証」

「WELL認証」とは？

「WELL認証」は、米国の Delos 社が 2014 年に開発した国際的な建築物の空間評価システムです。他の空間評価システムと異なり、空間を効率的に利用できているか、生産性高い利用ができているか、といった評価以外に、その空間に過ごす人たちが健康的に過ごせるか、といった「Well-being に貢献する空間であるか」を重要な評価指標としています。世界的に重要視されているこの制度は、働く場所の環境をグローバルな基準で認証するもので、Well-being 経営をはじめ健康経営や働き方改革を目指す企業にとって指針となります。

2024 年現在、日本ではまだ広く認知されていないものの、関心が高まっており、認証取得件数も増加しています。このように、WELL 認証は建物内で働く人々や過ごす人々の幸福度を

高めるための新しい基準として注目されています。

WELL Building Standard v2

2020 年 9 月 15 日に発表された最新版「WELL Building Standard v2」は、10 のコンセプト「空気」「水」「食物」「光」「運動」「温熱快適性」「音」「材料」「ところ」「コミュニティ」を基に、117 の評価項目と 225 のパートで構成されています。

10 のコンセプトは、「建物側に関する評価項目」と「会社の方針や運営に関する評価項目」に分けることができます。

WELL 認証を取得するには、全ての評価項目に必要な点数を満たす必要があります。取得した点数に応じて認証のレベルが決まり、最も高いレベルであるプラチナから、ゴールド、シルバー、ブロンズといった順に認証ランクが設定されています。

建物側に関する評価項目

空気 Air 水 Water 光 Light 音 Sound
温熱快適性 Thermal Comfort 材料 Materials

会社の方針や運営に関する評価項目

栄養 Nourishment 運動 Movement
心 Mind コミュニティ Community

WELL 認証項目に該当する商品

心 Mind M02.1 自然とのつながりを提供する

貢献ポイント：木材の自然の色・イメージを実現するドア・パーティションを使用することで、空間に自然との繋がりを生み出し、その空間で過ごす人のところにリラクゼーションを提供します。



デザインドア



木目鋼板商品群



木目 CB 商品群



木製ハンギングドア HDW

心 Mind M03.3 職場のサポートを提供する

貢献ポイント：工場に専用の事務・休憩スペース、オフィスや自宅にワークブースを設置することにより、周囲の騒音・雑音によるストレスを軽減し、作業効率の向上やリラックスした休憩時間を提供します。



工場用ルーム FB



どこでもブース
Remote cabin (リモートキャビン)



自宅用ワークブース
Kitroom (キートルーム)

コミュニティ Community C13.1 ユニバーサルデザインに配慮する

貢献ポイント：ユニバーサルデザインに考慮したドアを設置することで、全ての人に快適で柔軟な交流ポイントを提供します。



木製ハンギングドア HDW



ハンギングドア HD



ハンギングドア MSD



ユニバーサルデザイン折り戸
Dear-d (ディアード)

材料 Materials X12.1 呼吸粒子の曝露の軽減

貢献ポイント：ワークブースを設置することで、呼吸粒子交換を低減に貢献します。



どこでもブース
Remote cabin (リモートキャビン)

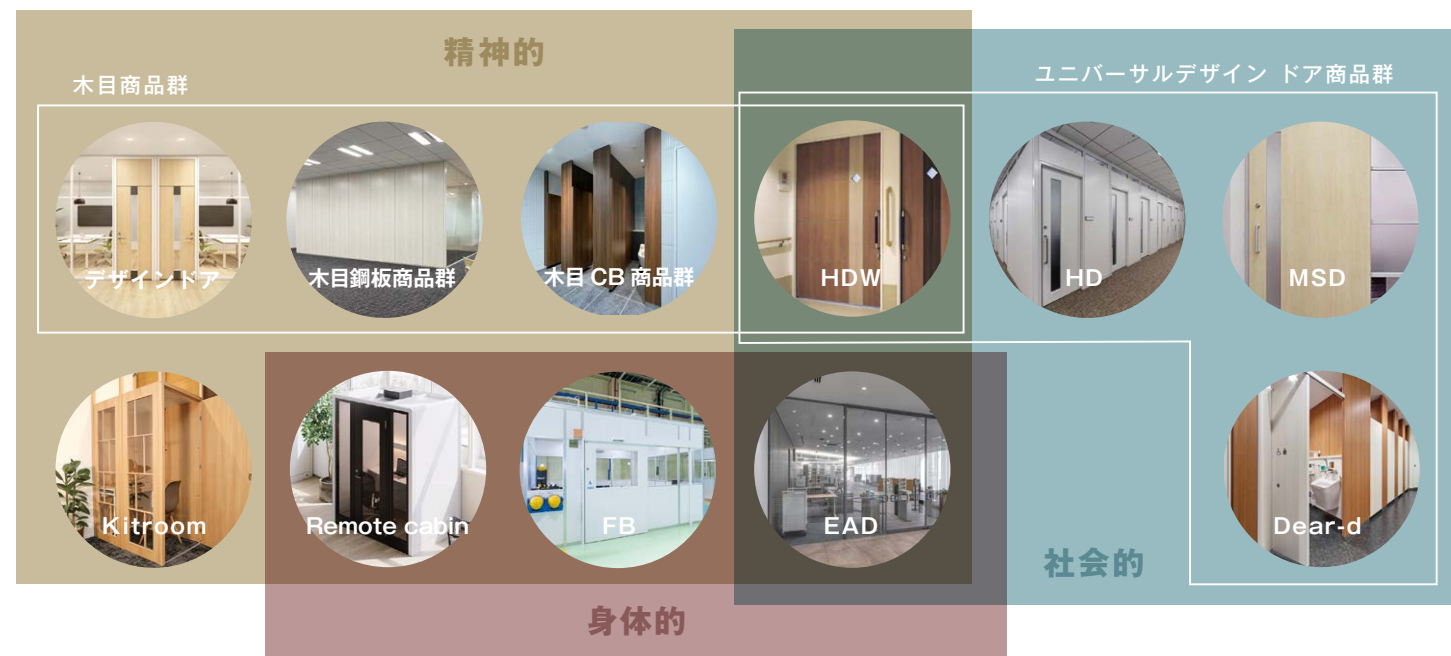
材料 Materials X12.2 表面接触への軽減

貢献ポイント：ハンズフリー操作の自動ドアを設置することで、表面接触への軽減を実現します。



自動ドア EAD

WELL 認証項目に該当する製品の Well-being マッピング



その他 Well-being な空間づくり及び WELL 認証についての詳しい情報はコマニーのホームページをご覧ください。

<https://www.comany.co.jp/well-being-kuukan-dukuri/>





我々は間づくりカンパニーである

私たちは創業以来、ずっと間仕切り（パーティション）をつくり続けてきた。
そして、世の中の間をたくさん分け続けてきた。いや、正確にはそうではない。
私たちが本当にやってきたことは、間仕切りによって、新たな「間」を生み出しているのだ。
そのように、間をつくることで新たな価値を創造する。

「間」とは、二つ以上の要素がある場合に生成される関係性。
私たちは、関係性を整えるために、「間」をつくってきたのだ。
時間、空間、風間、土間、合間...いろんな「間」が存在する。
人間だって「間」だ。人間を中心に、どんな時間とどんな空間をつくり出し、
そこでどんな手間を加えるのか？その関係性を整えていくこと。それが「間づくり」だ。

我々は、間づくりカンパニーである。



コマニーの間づくりとは

販売ネットワーク

国内27拠点 充実の 販売ネットワーク

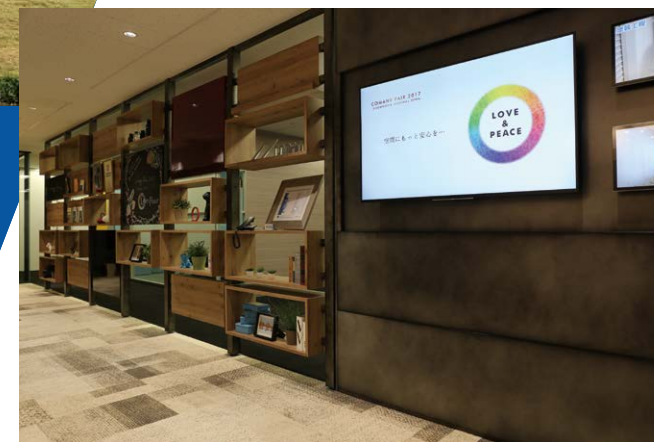


販売ネットワーク

全国のお客様へ貢献可能な販売ネットワークです。
一部営業拠点にて、ショールーム・見学オフィスのご案内も行っております。
コマニーの間づくりを実際にご覧ください。



ショールーム



東京ショールーム

営業時間：平日 10:00 ~ 17:00 (夏季休暇、年末年始を除く)
住 所：東京都千代田区西神田 3-8-1 千代田ファーストビル東館 11F / 14F
受 付：千代田ファーストビル東館 14F

TEL 03-6261-1039 | ご来観の際は事前にご予約いただきますようお願いいたします。

見学オフィス



本社事務所オフィス

営業時間：平日 10:00 ~ 17:00 (夏季休暇、年末年始を除く)
住 所：石川県小松市工業団地 1-93
電話番号：0761-21-1144

工場見学も承っております。
ご来観の際は事前にご予約いただきますようお願いいたします。

大阪営業所オフィス

営業時間：平日 10:00 ~ 17:00 (夏季休暇、年末年始を除く)
住 所：大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43
あべのハルカス 27F / 28F
電話番号：06-6624-8700

ご来観の際は事前にご予約いただきますようお願いいたします。

福岡営業所オフィス

営業時間：平日 10:00 ~ 17:00 (夏季休暇、年末年始を除く)
住 所：福岡市博多区博多駅前 4-9-2
YAOJI センタービル 3F
電話番号：092-414-7831

ご来観の際は事前にご予約いただきますようお願いいたします。



コマニー株式会社

〒923-8502 石川県小松市工業団地1-93
<https://www.comany.co.jp/>

☐お問い合わせは コマニー株式会社 経営企画部 へ
月曜～金曜(祝祭日を除く) 9:00AM ～ 5:00PM TEL **0761-21-1201**

